

# 社員から提出された感想文（一部抜粋）を紹介させていただきます。



毎年本を読む機会をいただきありがとうございます。

目標を小さく分解しステップにする→1ステップできたら達成感が得られる→ドーパミンがでて意欲がわくというサイクルがあることがわかりました。

(齊藤)



人間や組織が持つ「弱さ」を無視するのではなく、むしろそれを認識し、うまく活かすことで成長を促す。社会やビジネスの中で、どうしても「強さ」が求められがちですが、実際には「弱さ」を受け入れ、そこから学び、改善していく過程が重要だという点が印象的でした。

(稻田)



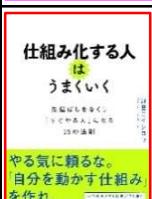
扱う商品が一緒だった場合、お客様は何で選ぶのか。  
もちろん価格で選ぶ人もいると思いますが、私は「人」だと感じました。  
この人から買いたい。買った後も安心。と思ってもらえるのは、人間関係と対応実績だと思います。

(飯原)



キーエンスの仕組みの特徴は「仕組が実行される仕組み」があります。  
私もこれに学んで、作った仕組み（ルール）が浸透するまで仕組みの見直しを繰り返しながら進めていきたいと思います。

(太田)



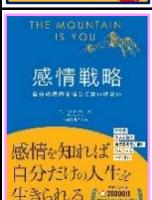
私は今まで計画を立てて行動というより、その場その場で対応し、とりあえず目の前のことから手を付けていました。  
これからは目的・目標・時間を意識したスケジュールをくみ、すべきことを明確にし、1つ1つこなしていきたいと思います。

(赤羽)



1日24時間と言うのは意識する事はありましたが、時間=命と置き換えるとより重みを感じました。先延ばしで時間を無駄にするのではなく、少しでも大切な時間を確保するために意識するきっかけになったと感じました。

(加藤)



この本を読み、自分の感情に素直に向き合い、なぜその行動を行おうとしたのか、あるいは行ったのかを、探るという行為をこれから意識的にしようと思います。  
仕事をしていて壁に当たっても、自然に乗り越えようとする力ができるようになります。この本を今読んで本当によかったです。

(長尾)



この本を読み、自分は根本的な考え方間違っているのではと考えました。  
時間とは、追う、追われるではなく、自分のものであるということです。誰かのために使う時間も、実際は私の時間です。それをいつでも忘れずに日々過ごしていくことで、何か見えてくるのではと心が弾みました。

(佐藤)



また出来ない自分にならないよう、作中にあった9つの思考ルーティン表を自分の目につくところに貼りました。40年の自分クセはなかなか抜けそうにはありませんが、この本のコツを自分のものにして行動が遅い自分を少しづつ変えて行きたいと思います。

(武藤)

